

平成16年度 当初予算

一般会計・特別会計予算総額
一八九億一、九六八万三千元

今年度の財政見通しは、歳入の根幹をなす町税収入が、個人所得の減少や現在の景気的情勢を考慮すると、昨年度当初予算計上額をさらに下回る厳しいものと予測されます。

また、地方交付税についても、国の三位一体改革の中で地方歳出の見直しを通じて交付税総額が大幅に削減され、引き続き不交付になることが見込まれます。さらに、普通交付税の振替財源である臨時財政対策債は平成十八年度まで三年間の延長措置がとられましたが、発行額は約三割縮減されたものとなっています。

加えて、税源移譲の具体的な内容が示されないまま、国庫補助負担金の廃止、縮減等の方針のみが先行して示されるなど、歳入を取り巻く環境は極めて厳しい状況にあります。

一方、歳出面では、扶助費や公債費等の義務的経費や特別会計への繰出金の増が見込まれるほか、対応すべき諸課題が山積しており、政策的経費についても増加が見込まれます。

このような行財政環境のもと、国や県の予算編成や行財政制度の動向と町の財政状況を踏まえたうえで、限られた財源を有効に活用できるよう、引き続き町民生活に十分に配慮しながら、福祉、環境、教育、防災・消防等の各分野にわたり、今年度を実施すべき施策に重点的かつ効率的に配分し、町民生活に深く関わりのある喫緊な課題に対応していきます。

(単位：千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	伸率(%)	
一般会計	9,818,800	9,329,100	489,700	5.2	
特別会計	国民健康保険	2,542,523	2,268,947	273,576	12.1
	老人保健医療	2,722,319	2,765,294	△42,975	△1.6
	介護保険	1,572,626	1,480,152	92,474	6.2
	下水道事業	2,263,415	2,057,970	205,445	10.0
	小計	9,100,883	8,572,363	528,520	6.2
合計	18,919,683	17,901,463	1,018,220	5.7	

一般会計

一般会計予算額は、前年度比五・二割、四億八、九七〇万円増の九八億一、八八〇万円となりました。

歳入のうち、町税は、景気低迷等による個人所得の減収等に伴い、前年度比二・四割減の五五億四、一〇一万一千円です。

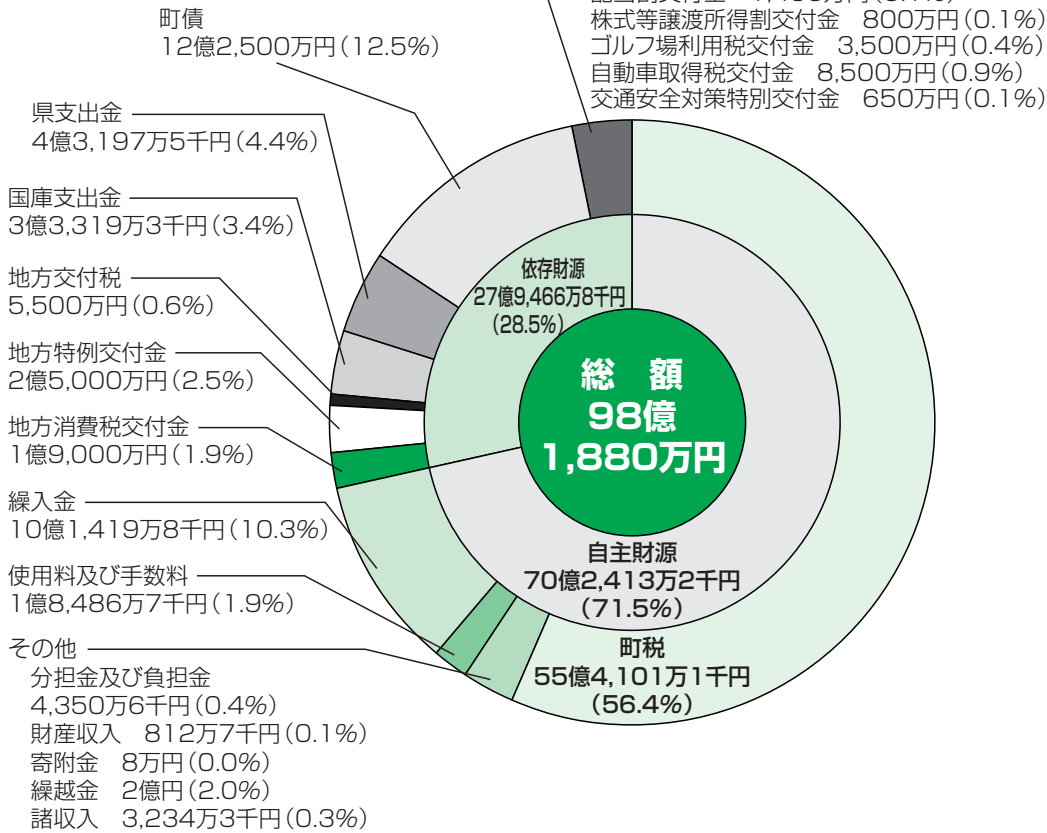
国庫支出金は、社会福祉費負担金、児童福祉費負担金、社会福祉費補助金、児童福祉費補助金、清掃費補助金、消防費補助金、社会教育費補助金等が増額したため、前年度より一、九三四万九千円の増額です。

県支出金は、市町村振興補助金、市町村地震防災対策補助金、港湾費委託金等が減額したものの、社会福祉費負担金、児童福祉費負担金、社会福祉費



歳入

特集

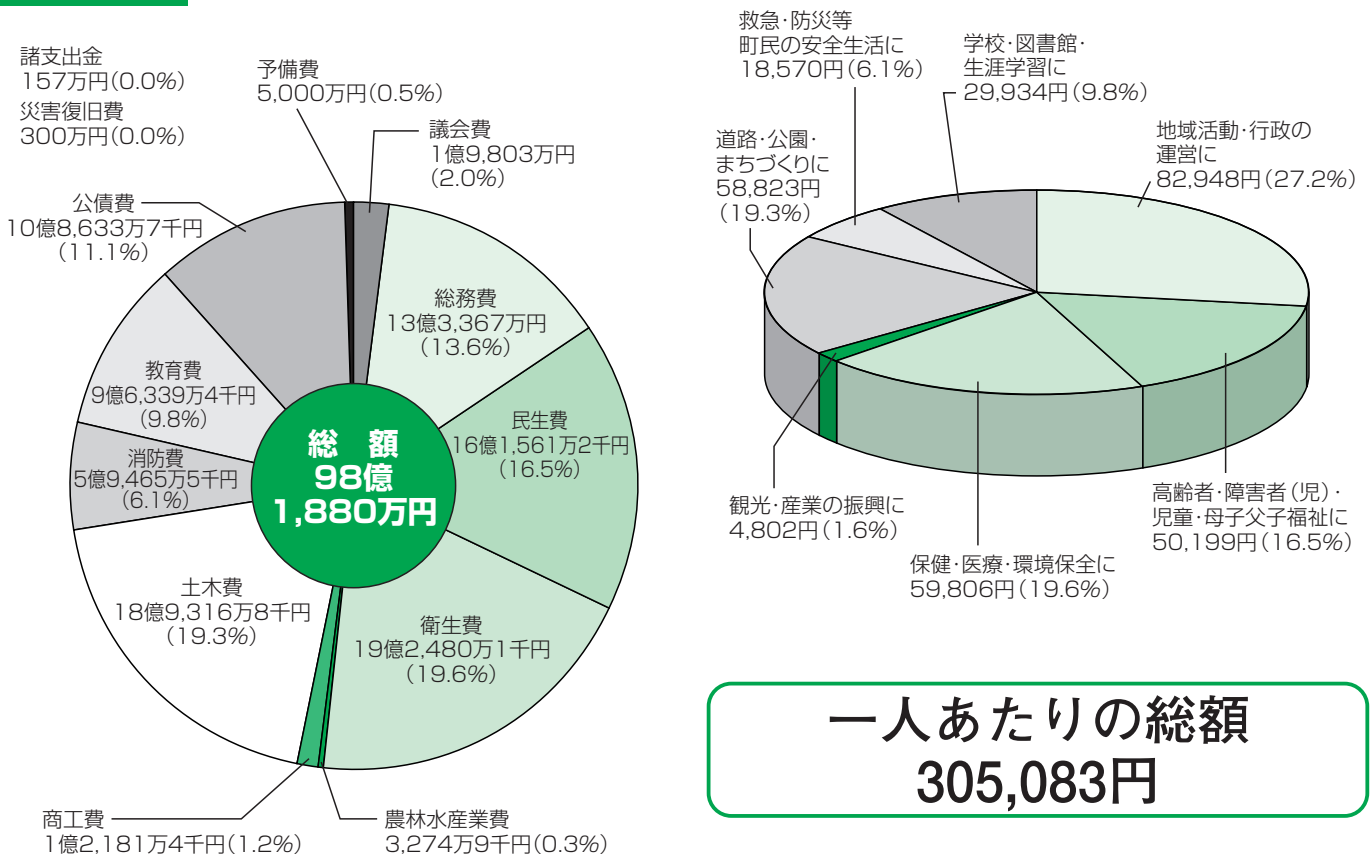


補助金、児童福祉費補助金、社会教育費補助金、選挙費委託金等の増額により、前年度より三、三二七万一千円の増額です。

歳出は、扶助費が前年度比三八・二割増の五億八、二九九万七千円となりました。

たものの、人件費は前年度比二・三割減の二八億九、〇八六万円に、物件費は前年度比一・〇割減の二二億一四六万三千円、維持補修費は前年度比二五・九割減の六、三五七万七千円となるなど、経常経費等の節減抑制に努めました。

歳出



一人あたりの総額 305,083円

主要施策の概要

〔新〕は新規事業(職員給与費・一般事務費は除く)

1 『青い海と緑の丘のある美しいまち』づくり

- 緑豊かな居住環境をつくる 4億7,105万8千円
都市計画推進事業(3,167千円)、緑化事業(3,034千円)、一般公園管理事業(20,716千円)、公園等整備事業(25,967千円)
- 環境に配慮したまちをつくる 32億5,671万2千円
環境保全対策事業(1,506千円)、環境基本計画推進事業(628千円)、鳥獣保護管理対策事業(2,298千円)、ごみ資源化・減量化事業(44,721千円)、ごみ収集事業(84,545千円)、ごみ焼却処理事業(137,349千円)、クリーンセンター維持管理運営事業(170,642千円)、公害防止対策事業(1,565千円)

2 『文化をはぐくむうるおい、ふれあいのまち』づくり

- 資源を生かし地域の活性化を図る 2,105万8千円
「くれ竹の郷葉山」推進事業(13,658千円)、非核平和・国際交流事業(2,891千円)、草津町親善交流事業(736千円)
- 豊かな心を創造する 5億7,133万4千円
公民館教室運営事業(4,638千円)、しおさい博物館教育活動及び調査研究事業(2,829千円)、児童生徒就学援助事業(16,208千円)、奉仕活動・体験活動推進事業(567千円)、長柄桜山古墳群調査整備事業(25,341千円)
- 活力ある産業をつくる 1億609万3千円
生産者と消費者のふれあい事業(245千円)、畜産振興対策事業(566千円)、観光施設維持管理事業(25,458千円)、商工活動等支援事業(15,416千円)

3 『安全で安心して暮らせるまち』づくり

- うるおいのある生活と安心して子育てができるまちをつくる 23億4,132万4千円
福祉関係諸団体支援事業(67,814千円)、在宅高齢者生活支援事業(42,785千円)、障害者計画策定事業(488千円)、施設訓練等支援事業(143,707千円)、小児医療助成事業(29,846千円)、次世代育成支援対策推進事業(1,383千円)、児童手当支給事業(100,900千円)、入所児童委託事業(123,124千円)
- いきいきと誰もが健康に暮らすことのできるまちをつくる 54億1,305万7千円
健康づくり事業(1,499千円)、成人保健事業(2,137千円)
- 災害に強く安全なまちをつくる 2億3,246万1千円
消防車両整備事業(45,500千円)、民間木造住宅耐震診断及び耐震補強工事助成事業(2,776千円)、小学校耐震整備事業(8,602千円)

4 『住民が参加する自治のまち』づくり

- コミュニティをつくる 1,887万8千円
町民相談事業(18,380千円)
- 町民と行政の協力関係をつくる 2,216万7千円
諸証明等宅配サービス事業(856千円)、町制施行80周年記念事業(2,028千円)
- 効率的な行財政運営を図る 2億1,860万6千円
戸籍業務電算化事業(25,576千円)、電子自治体基盤整備事業(7,237千円)、企画調整事業(6,132千円)

特別会計

特別会計(四会計)の合計は、九一億八万三千円で、前年比六・二割の増額となりました。

国民健康保険

予算額は前年比十二・一割増の二五億四、二五二万三千円です。

歳入は、保険給付費の増加に伴う療養給付費等交付金が二八・四割増の五

億一、五七〇万一千円、高額医療費共同事業負担金の増加に伴う県支出金が四一七・一割増の一、五二六万四千円です。

歳出は、一般被保険者、退職被保険者等療養給付費と一般被保険者、退職被保険者等高額療養費の伸びによる保険給付費が十九・六割増の十六億二、六八〇万六千円となるものの老人医療対象年齢の引き上げ等による保険者拠出金の減少により老人保健拠出金が七・八割減の六億二、五八五万円で

歳出の内訳は、一般被保険者の療養給付に九億一、九六〇万七千円、退職被

保険者の療養給付に四億九、九五六万六千円、一般被保険者の緊急等の受診・補装具等の費用に一、二〇一万六千円、退職者被保険者等の受診・補装具等の費用に五四一万九千円、一般被保険者の高額療養費超過分に九、一七〇万八千円、退職被保険者等の高額療養費超過分に五、八九八万三千円、被保険者の出産に一時金を支給するのに一、五〇〇万円、被保険者の葬祭費を支給するのに一、四七〇万円、老人保健医療費に充てる老人保健医療費拠出金に六億一、二八五万二千元、介護保険用

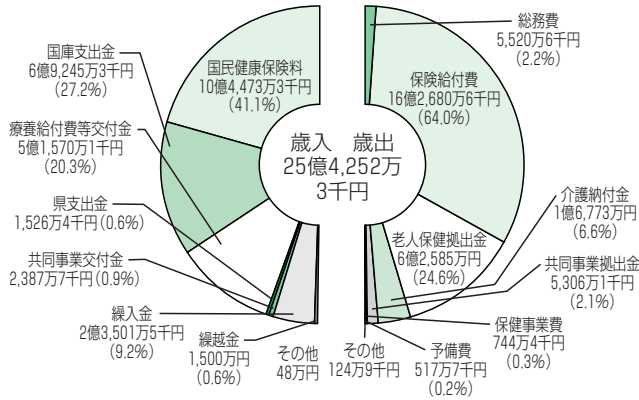
に保険者が社会保険診療報酬支払基金

へ納付するのに一億六、七七三万円、交付基準額を超える高額療養による財政運営の不安を解消するための高額医療費共同事業医療費拠出金に五、三〇五万七千円、三五歳以上の被保険者の人間ドック受診への一部助成に六九〇万円です。被保険者(一三、三〇〇人)一人あたり約十九万一千円になります。

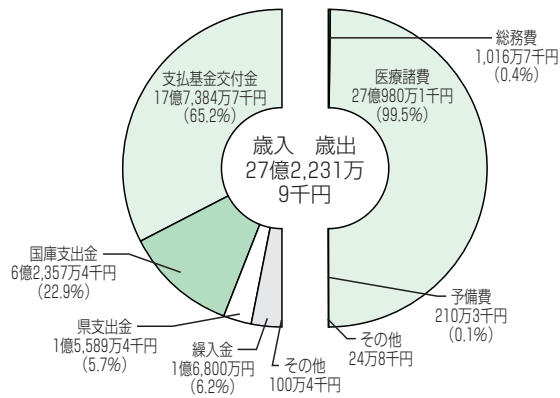
老人保健医療

予算額は、前年比一・六割減の二七

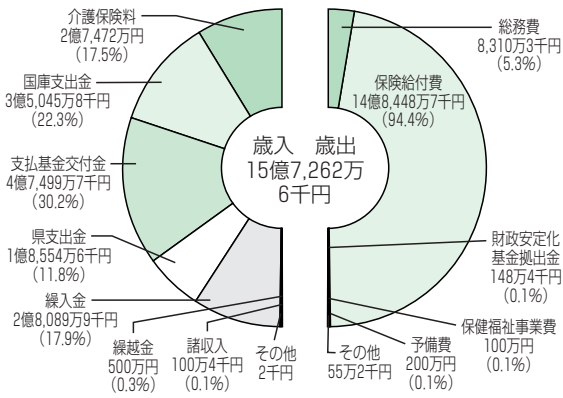
国民健康保険特別会計



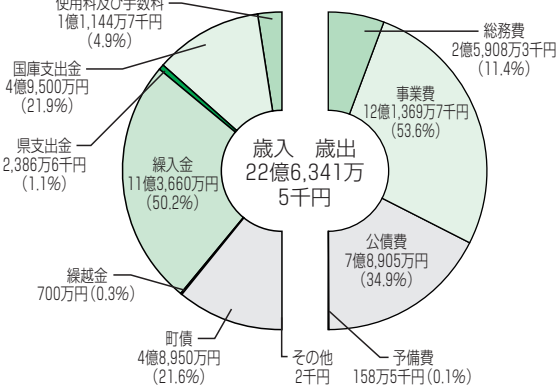
老人保健医療特別会計



介護保険特別会計



下水道事業特別会計



億二、二三一萬九千円です。

歳入は、国庫支出金が五・一割減の六億二、三五七萬四千円、県支出金が五・一割減の一億五、五八九萬四千円となるものの支払基金交付金が〇・四割増の十七億七、三八四萬七千円です。

歳出は、総務費が〇・八割増の一、〇一六萬七千円となるものの医療給付費等の減に伴い医療諸費が一・六割減の二七億九八〇萬一千元です。

歳出の内訳は、老人医療受給者の療養費の保険医療機関への給付に二六億四、九七二萬二千元、老人医療受給者の緊急等の受診・補装具等の費用に四、五四四萬円、医療費の審査・支払に關する費用に一、四六三萬九千円です。

受給者の見込みとしては、昨年度より一一六人減の四、六四八人です。

介護保険

予算額は、前年比六・二割増の十五億七、二六二萬六千円です。

歳入は、介護保険料が三・二割増の二億七、四七二萬円、保険給付費の増に伴う国庫支出金が三・八割増の三億五、〇四五萬八千円、同じく支払基金交付金が六・五割増の四億七、四九七萬七千円、保険給付費の増加に伴う介護給付費負担金の増による県支出金が六・五割増の一億八、五五四萬六千円、繰入金が十二・四割増の二億八、〇八九萬九千円です。

歳出の総務費については、前年比

二・七割増の八、三一〇萬三千円、介護サービス等諸費の増加により保険給付費が六・五割増の十四億八、四四八萬七千円です。

歳出の内訳は、認定審査会で被保険者の審査判定に要する経費に五三一萬六千円、要介護認定の申請に伴う認定調査等に一、〇三四萬二千元、居宅介護のサービス・支援サービス計画等・福祉用具購入及び施設介護のサービスに十四億七、四〇五萬一千元、高額介護・支援サービスに七三七萬一千元です。

下水道事業

予算額は、前年比十・〇割増の二二億六、三四一萬五千円です。

歳入は、供用開始区域の拡大等に伴う下水道使用料の増による使用料及び手数料が一一・九割増の一億一、一四四萬七千円、整備事業費の増加に伴い国庫支出金が一九・五割増の四億九、五〇〇萬円です。

歳出は、整備事業費の増加に伴う事業費が十四・一割増の十二億一、三六九萬七千円、償還元金の増、償還利子の減による公債費が六・九割増の七億八、九〇五萬円です。

歳出の内訳は、下水道事業水洗化普及のための啓発、助成に五一三萬二千元、排水施設等を維持管理するのに三、七〇八萬六千元、浄化センター・ポンプ場等の管理運営に一億五、七九八萬一千元、下水道の整備に十一億六、九七六萬七千円です。